

おうとう

第8号
文責日高洋子



持続可能な開発目標

出前授業でSDGs

「貧困と共に生きる子どもたち」



日本では考えられない、フィリピンの子どもたちの様子を分かりやすく話をしてくださいました

文部科学省の後援による「子ども夢基金助成活動」の一環として、SYDという団体が「世界に笑顔の花を！」というコンセプトのもと、全国の小中学生を対象に出前講座を実施しています。本校にも2名の講師の方が来校され、フィリピンのストリートチルドレン（路上で生活する子どもたち）やスカベンジャー（ごみを生活の糧としている子どもたち）についてお話しくださいました。

講師の方々は、実際に何度か現地でも支援活動を行っており、その体験に基づくお話は、日本では想像できないものでした。学校に通うことなく、「生きる」という真正面から向き合っているフィリピンの子どもたちにとつて、「学校に行くこと」は夢であるという言葉に、心を強く揺さぶられました。彼らにと

駅伝大会練習仕上げへ

本番は10月1日(水)

10月1日(水)に開催される「五島市中総体駅伝競走大会」の本番に向けて、練習もいよいよ終盤を迎えています。練習を続けてきた生徒たちは、暑さ厳しい夏休みの間も、ひたむきに走り続けてきました。異常気象が続いたこの時期、長距離の練習は非常に過酷だったことと

本番まで残り2週間あまり。チームの目標、自分自身の目標、それぞれが達成できるよう、学校あげて応援したいと思えます。当日は全校生徒63名の代表として、誇りを胸に最後まで走り抜いてほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、どうか温かいご声援をよろしくお願いいたします。

※当日は小雨決行ですが、落雷の予想などから延期の可能性があります。

水泳指導で熱中症？

水筒持参は必須の時代

今年から、水泳実習の場所が変更となり、これまで使用していた本山小学校のプールに代わって、富江の「たっしやかランド」で実施することになりました。本山小学校のプール設備が修理不能となったため、小学校も同様に富江で実習を行っています。本山小学校のプールは屋外でしたが、富江の施設は屋内で、しかも温水プールです。そのため、湿度と気温が高く、引率していた教頭先生は「大汗をかいた」と話していました。そのような環境の中で、実習後に体調不良を訴える生徒が数名出ました。水分補給や休憩は適宜行っていました。水筒の持参は必須ですが、特にこの時期は水分補給が欠かせません。水筒の持参は必須です。

校長室から

先日、皆既月食の様子がニュースで取り上げられていました。夜中から明け方にかけて、美しい天体ショーが見られると聞き、3年ぶりの天体現象だということで見てみようかと思っていたのですが、残念ながら睡魔に負けて見逃してしまいました。次の機会は頑張ってみようと思っておりますが、曇っていたら？雨が降ったら？と考えると、やはり見なければ良かったなと後悔が…。

何事にも「その瞬間」はその時しかないのだと、改めて感じたところでした。出前授業②として9月10日に平和学習が行われましたが、「模擬原爆」と呼ばれる爆弾について学びました。子どもたちの「今の学び」が実りあるものであってほしいです。